第4回大田原市下水道使用料等審議会 会議録

日 時：令和6年9月13日（金）午後1時25分～午後2時10分

場 所：大田原市役所1階会議室

出席者：

委員（11名）

菊池委員、高瀬委員、滝田委員、鴛巢委員、平久江委員、郡司委員、増田委員、
福島委員、佐々木委員、齋藤委員、藤沼委員、

事務局（5名）

五月女局長、土屋下水道管理係長、佐川下水道工務係長、花塚下水道維持係長、
江連主査

事務局（局長）	<p>本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから第4回大田原市下水道使用料等審議会を開会いたします。お手元の会議次第に沿って進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、出席委員は11名で定足数に達しており、審議会は成立いたしますのでご報告させていただきます。</p> <p>続きまして会議次第の2会長挨拶です。鴛巢会長よろしくお願いいたします。</p>
鴛巢議長	<p>皆様こんにちは。暑い中大変ご苦労様です。ただいま事務局からありましたが、本日第4回の審議会ということになります。過去3回にわたり大田原市の下水道事業について、色々な資料を基に現状と課題これらについて、議論検討していただきました。第4回の今日はそれらの検討結果、議論の審議の結果を踏まえまして、市長の諮問に対する答申という形でまとめなければならないわけです。したがって、本日また新たな観点からの説明資料が用意されておりますので、そういったものを踏まえて、議論をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局（局長）	<p>ありがとうございました。それではこれ以降の進行につきましては、規定により鴛巢会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
鴛巢議長	<p>はい。それでは早速議事に入ります。説明の後に質疑の時間をとっておりますので、よろしくお願いいたします。それでは答申書の作成について事務局説明をお願いいたします。</p>

事務局（管理係長）

はじめに、これまでの説明を簡単にまとめさせていただきます。

説明資料2ページです。市長から大きく3点の諮問事項がありました。

①は、市の本体である一般会計から経営の補助を受けている点で、図のとおり受益者が使用料で負担するべき污水处理費用が、まかなえておらず、余計に一般会計から補助を受けています。これは、他の行政活動費を減少させてしまっているので、早急に是正が必要ということでもあります。②は、管渠や施設の老朽化、更新費用が増加する一方で、人口が減少し下水道使用者が減っていくという将来において、安心安全が前提のインフラ事業として備えるお金が必要ですよという内容です。③は、国庫補助の交付要件が変わってきてまして、このような審議会などを定期的に開催し、適正な下水道使用料について検証することが必要になるということです。今回の令和6年度審議会を開催した理由もこの件が大きいところです。

説明資料3ページですが、それら諮問事項の課題を解消するには、使用料の改定が必要であることを説明しました。なお、下水道事業としても、値上げありきではなく当然ながら経費削減などに努める必要があるということについて、具体的に小規模の農業集落排水事業の処理場を廃止して、大きな処理場への統合を行うことや、ストックマネジメント計画によって、資産を事前確認によって優先順位をつけて計画的に老朽化対策をおこなっていきますということ、市街地の下水道整備がほぼ完了しましたので、今後は家屋が連担していない地域の整備となってくるわけですが、この整備方針などの見直し等を行い、少しでも後年度の負担を減らす努力をしていきますというお話をさせていただきました。

資料4ページですが、委員の皆様さまざまの思いがあると存じますが、これまでの説明によって、改定についてご理解いただけたものとなりました。次にどの程度値上げをする必要があるのかということで、今後の5年間の財政見込みの算定結果を出しましたが、使用料収入の増加は望めなく、流域下水道事業負担金の増加や排水管などの更新費用などによって、先行きは厳しいものであり1億円を超える金額が年間で不足してしまうという予測となりました。

資料は5ページですが、経営状況は表に出ている不足分だけではなくて、他にも借金の返済や建設費などの費用に充てる不足分も生じておりまして、すべてを削減するとなれば、40%近くの改定が必要になってしまいます。しかしながら、当面の問題は受益者負担分が不足していることなので、国庫補助などの要件をクリアしたギリギリというような意見もいただきましたが、やはり、市民生活に直結する下水道使用料なので、改定率を抑えることは必要であることから、県内の他市の使用料と比較し調整したところ、令和

4年度に不足した約8千万円の増収、約12%の改定までに抑えることがはじめの一歩としては妥当ではないかということになりました。

資料は6ページです。使用料の体系、単価などを変えて8千万円の増収を図るためには、どうしたらよいかということで、使用料の体系を考えるとということで、本市の使用料の特徴を見ました。本市の下水道使用料は他市と比べて、基本料金が高いという点が大きな特徴であり、そのほかは平均的なところでした。なので、そこを考慮しました。

資料は7ページです。それらの特徴を踏まえて、今回の改定ポイントですが、使用料体系の基本体系はそのままです。これは全国的に一般的であるので基本料金プラス超過料金の体系はそのままとしました。あとは、大きな特徴のとおり基本料金が高料金であるので据え置きとしました。基本料金が変わりませんので、使用者の分布が多い、0から20㎡まで0円としている基本水量制を廃止しました。これは、現在全国的に改定が進んでおりますが、この部分を改定しているケースが非常に多いです。これは生活スタイルの変化により単身世帯が増えている点からです。そのほか、排出量に応じて単価が高くなる逓増型は残しますが、大口の事業者については、同様に上げていきますと非常に増加額が大きくなってしまいますので、ここは緩和をしてあげましょうということにしました。

それによって資料A3増加額の見込みのとおり、同じ改定率12%として特徴をつけた4案を提示しました。真ん中に黒の②、③の折衷案というものを新しく加えてございますが、これは後で説明をします。①案は一律の改定率13%が、どの程度となるか比較対象として入れたものです。そもそも基本料金が上がりますので今回の改定ポイントから外れてしまうものなので、参考までに入れた案です。④案は、大口排出者が負担増となるものなので、今回のポイントからは外れるものとなります。そこで、前回の意見では②か③ということで契約者の分布や少量使用者の負担軽減などの観点からみても、どちらかになるであろうと答えが出たような形でした。

そこで、資料は8ページですが、会長と前回の内容と事前に相談をさせていただいた中で②案と③案に意見が分かれるところであるので、両案の料金単価を見ていただきますと、両案の料金の差額がありますので②と③案の間をとって参考までに折衷案として加えさせていただきました。

資料は9ページですが、折衷案は今回のテーマのとおり、大口の排出者の負担軽減を他の使用者の負担増をそれほど求めずにできるので、折衷案を入れさせていただきました。本来は事前にお配りして意見を聞くものですが、突然で申し訳ありませんが、この後の質疑等で皆様の意見をいただきたいと思えます。

次に答申書の内容を確認したいと思います。前回配付したものと、大まか

なところは変えてございませんが、内容を説明させていただきます。

答申書3ページですが、1はじめにを1 諮問事項についてとし、大きく3点の諮問事項を記載し、国庫補助の交付要件が変わったという内容を入れました。そして、この3点の諮問事項を解消するためには、使用料の改定が必要との審議結果となりましたという記載にしました。

答申書4ページですが、2の(1) 改定時期ですが、案では時期のみを記載していましたが、早急に改定する必要があるために、令和7年4月1日から施行という記載にしました。(3) 改定率は、基準外繰入金の解消に向けての1 歩目であり、全ての解消には大きな改定が必要となりますが、市民負担の軽減や県内との比較を考慮したところ12%に抑えることが妥当という記載としました。

答申書5ページですが、文言ですべて記載していましたが、わかりやすくするために改定ポイントを丸数字で掲出した書き方としました。

答申書6ページは、一時的に折衷案の単価を改定後の料金表に入れております。また、改定後の汚水量ごとに増加する金額表を記載しました。

答申書7ページ最後で、定型的な文に加えて最後の結びですが「期待しています」としました。

答申書8ページからは諮問書、審議会スケジュール、委員名簿を新たに加えました。諮問書(案)については以上ですので、後ほど意見をいただきたいと思えます。

最後にお話ししたい件として、説明資料の10ページをお願いします。

①今回の改定となる使用料等の範囲は、公共下水道使用料と農業集落排水使用料であり、公共設置型浄化槽使用料の改定はありません。

②今後の値上げについてですが、今回の改定は5年間を対象に行いますので、大きな社会情勢の変化等が無い限り、以後の5年間は改定ありません。また、定期的な検証および計画の作成公表が国庫補助の交付要件になりますので、5年後に同様の審議会を開催し、その時世で使用料が適正かどうかを審議することになります。なお、基準外繰入金の解消のためには、今後も複数回の改定が続くものと思われれます。

③値上げは審議会で決定したことでなく、使用料改定の必要性が生じたため、規定のとおり市の諮問機関である下水道使用料等審議会に検証をお願いしたものです。今後は、答申結果を参考に市の責任において条例改定案を作成し、議会や市民に説明をしていきます。

④平成27年以降、改定が行われていなかった件ですが、下水道使用料は利益を考えずに受益者負担相当分で設定することが一般的です。平時であれば大きな不足額は生じませんが、令和3年度頃からのエネルギー費高騰が大きな影響となりました。物価高騰やコロナ禍による市民負担の軽減のため、

<p>鴫巣議長</p>	<p>据え置きしていたところもありますが、更新費用や人口減少の問題もあるため、やむをえず改定について審議をお願いしたものです。また、公営企業会計の適用による経営状況の明確化や国庫補助の交付要件の変更なども大きな影響となり、全国的に下水道使用料の見直しが進んでいるところであります。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>はい、ありがとうございました。説明が終わりましたので質疑を受けたいと思いますけれども、その前に一言お断りを含めて付け加えさせていただきます。</p> <p>本日の審議会が最終ということになりますので、答申書としてまとめることとなります。については、事前に事務局と相談の上で答申書案として取りまとめました。これで確定ということではありません、あくまでも雛形という形でお配りをしました。特に使用料の改定につきましては、案2、これ平均的に負担が増えるということ。それから案3、これは一般使用者が負担増になるということです。意見がわかれるところかと思われま。</p> <p>そこでただいま説明のあった通り、改定率につきましては、案2と案3の折衷案を暫定的に答申書案に記載をさせていただきましたので、これから委員の皆様から記載内容についていろいろご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひをいたします。それでは、ご意見のある方はお願ひいたします。</p> <p>はいどうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>折衷案に賛成したいと思います。</p>
<p>鴫巣議長</p>	<p>ただいま、折衷案でというご意見がでました。</p> <p>案2にするか折衷案にするかという二者択一という形になるかなという感じはしますけども、その他いろいろ総合的に判断をさせていただいて、いずれの案を採用にしても、改定率を上げなければならないというのは、現状の課題に対する大きなポイントになると思ひます。</p> <p>特にご意見ございませんか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>鴫巣議長</p>	<p>はい、特にご意見がないということであれば、改定率については、今回提示した折衷案を採用ということで、答申書の案については、最終的には私と事務局の方でまとめまして、市長に答申するというところでご了解いただけますでしょうか。</p>

委員一同	異議なし
鴫巣議長	<p>はい、ありがとうございます。ただいま各委員の皆様からご了承いただきましたので、今後の作業を先ほど説明したように進めさせていただきます。お手元の答申書案は、これが標準的な形になっています。非常に文言はいろいろ入ってきますけれども、この辺はその時の社会事情を踏まえた上での文章になりますので、ご理解のほどお願いいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、本日の議事は終了となります。事務局の方から何かございましたらお願いいたします。</p>
事務局（局長）	<p>それでは私の方から下水道使用料の改定に向けた今後の進め方をお話させていただきますと思います。先ほどの資料の11ページをご覧くださいと思います。今後、答申書をまとめさせていただきます、市長への答申書の提出につきましては、会長にお願いしたいと考えております。また答申結果については、市のホームページ、市の広報等により周知する予定でございます。その後、答申結果をもとに令和6年12月定例議会に大田原市下水道条例および農業集落排水使用料条例の一部改正案を提出する予定でございます。さらに議会の議決を経たあとですね、市のホームページ、市広報等により新料金の周知を行った後、令和7年4月1日の使用分から、新料金を適用する予定となっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。</p>
鴫巣議長	<p>はい、それでは本日予定されました議題については全て終了しましたので事務局の方にお返しをします。</p> <p>その前に、私の方から一言お礼を申し上げたいと思ひます。委員の皆様には4回にわたり、しかも猛暑の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。慎重審議の結果、答申書としてまとめることができました。これもひとえに皆様のご協力をいただいたおかげというふうにお思ひしております。今後ともですね、下水道事業の持続的な発展にご協力ご支援をいただければと思ひます。以上、簡単ですが審議会の終了にあたっての挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
事務局（局長）	<p>鴫巣会長におかれましては、第1回から本日の会議まで議長として滞りなく議事進行していただきありがとうございました。そして皆さんに申し上げたいと思ひます。本審議会委員の任期につきましては、審議会条例第4条の規定により、諮問に係る審議が終了したときは解任されるものとする定め</p>

られております。会長には後日、市長へ答申書の提出をお願いいたしますが、委員の皆様は本日をもって終了となります。7月の第1回審議会から本日の第4回の審議会まで慎重なご審議を賜り誠にありがとうございました。

特に今回答申された内容というのは市民生活に直接影響を与えるものであり、委員の皆様には大変なご心労をおかけしたことと思います。今後は市議会での議決等、施行に向けた必要な手続きを進めますとともに、使用料改定および下水道事業に対しまして、ご理解とご協力が得られますよう市民の皆様幅広く周知を図ってまいります。また、下水道事業は市民の皆様にとって、なくてはならない重要な生活基盤でありますので、先ほど会長からもお話いただきました持続可能な下水道事業運営のため、職員一同鋭意努力してまいりますので、引き続き、委員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは以上をもちまして、第4回大田原市下水道使用料等審議会を閉会とさせていただきます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。